

基本方針④ 原子力災害をのりこえる

村内の除染を徹底的に進め、村へ帰還できる環境を整備します。

- 村での住宅環境を整備する「帰還再生生活道路整備事業(昇口舗装)」 1億5,000万円
- 除染後の放射線量をガンマカメラで測定する「環境放射線モニタリング測定事業」 1億1,920万円
- 帰村や農業再生等事業への財源措置として「農村楽園基金元金積立金」 2億円
- 村民の大切な財産を守る「いいたて全村見守り隊事業」 3億8,327万円

基本方針① 生命(いのち)をまもる

避難生活中でも誰もが健康で元気に過ごすための  
環境整備や事業を行います。

- 放射線を正しく理解して、正しく怖がる「放射線リスクコミュニケーション事業」 774万円
- まいでっ子健康づくり知の積立事業 372万円
- 仮設住宅などの健康づくりを推進する「仮設住宅入居高齢者等健康管理事業」 750万円
- 16才以上の村民を対象とした「総合健診事業」 7,115万円
- 村のホールボディカウンタ検査機器での「内部被ばく検査事業」 1,053万円

基本方針⑤ まいでブランドを再生する

これまで作り上げた産業の回復を図り、一方で新たな産業を  
積極的に導入し、まいでブランドの再生に取り組みます。

- 避難先での農業再生のための「被災地域農業復興総合支援事業」 1億2,165万円
- 除染後の農地保全を促進する「営農再開支援事業」 5,733万円
- ため池の除染効果を実証する「ため池汚染拡散防止実証事業」 1,972万円
- 松川仮設住宅内直売所「なごみ」への支援「直売所なごみ運営事業」 1,638万円
- 飯舘牛ブランド牛維持振興する支援として「畜産農家支援事業」 510万円

# 平成26年度の 主な事業と予算

今年度の主な事業とその予算額を  
復興計画の5つの基本施策などに  
基づき紹介します。

基本方針② 子どもの未来をつくる

未来を担う子どもたちが健やかに育つための環境を整えます。

- 安全な教育環境のための「幼・小・中学校仮設校舎整備」 7,586万円
- 避難児童・生徒の学校給食、学用品、保育料等を支援する「被災児童生徒等就学支援事業」 5,688万円
- スクールバス不足分を民間バス借り上げする「避難児童生徒等通学支援事業」 6,882万円
- 復興を担う子どもたちを国内外に派遣する「未来への翼事業」、「沖繩までいの旅事業」 1,794万円
- 福島市内に設置・運営する「子育て支援センター事業」 9,116万円

行政サービスの向上に取り組む

今年度、新しく始まった事業で、行政サービス向上に取り組めます。

- 役場や金融機関に足を運べない方のために、税金等がコンビニエンスストアで納められるよう、取り組みます。(収納システムは、平成25年度予算で取り組んでいます)

基本方針③ 人と人がつながる

今までの絆を守りつつ新たなコミュニティをつくり育みます。

- 既存の20行政区のつながりを維持する「行政区交付金」「地域づくり事業」 2,936万円
- 「村民ふれあい号事業」 525万円
- 「村民ふれあい集会」 600万円
- 避難先での自治会等への支援として「新しいコミュニティ助成事業」 1,000万円
- 「自治会役員・組織運営交付金」 939万円
- いやしの宿運営費 2,054万円
- 帰村でのコミュニティの拠点となる「公民館建替建設事業」 7億3,480万円